

歩 -AYUMI-

一歩一歩進む 少しずつ目標に近づく

「Gスタディ」発表会

3年A組（普通科）が探究活動の成果を披露

去る6月10日（水）に3年生の普通科の皆さんが、1、2年生の普通科の皆さんに対して、これまでの探究活動の成果をポスターセッションの形で発表しました。3年A組40名全員は1年生の時からいろいろな技法を用いて問題解決能力を高めていくことを目標に探究活動に取り組んできており、その成果を発表しながら情報を的確に伝える力と、発表を聞く力を養うことも目的として実施されました。



発表テーマとしては医療・健康、工学、美術・デザインの分野のテーマが多く見られましたが、秋田県が抱える高齢化に関するテーマもいくつか見られるなど、地域の課題に着目した探究活動をした人もおりました。

探究活動は新しい学習指導要領で「総合的な探究の時間」として、「総合的な学習の時間」に代わって設定されており、自分の進む進路を見据えながらテーマを設定して取り組むことになっています。この活動により、設定したテーマ

に関連した知識が深まる事はもちろんですが、課題解決に対してどのようにアプローチしその結果をどのように伝えるのかを身に付けることで、今後直面するであろう課題解決の技法やプレゼンテーション能力も育成されます。

探究活動で身につけた事柄が今後の進路実現や学生・社会人としての活動に活かされていくことに期待しています。

1年生へ

考査がやってきます

7月2日（木）から初の正式な考査が始まります。準備をしっかりと、最初から欠点（35点未満）になつたりしないようにしましょう。

2年生へ

ここからが勝負

多くの面で3年生からバトンタッチされる時期となりました。ここからどう過ごすのかが進路目標達成を大きく左右します。弛まぬ努力をしてください。

3年生へ

考査に全力投入を

3年生にとっては進路決定に重大な意味をもつ期末考査が近くなりました。ここで良い結果を出すことが進路実現には不可欠です。最大限の努力を傾けてください。

「歩一歩」第10号完成



今年度版の進路の手引「歩一歩」がこのほど完成しました。この冊子には本校の進路指導に関する全ての事柄が載っておりますので、進路のことで何か不明なことが出てきたらまずこの冊子を開けてみて欲しいと思います。

今年度版には、佐々木英憲校長先生が、それぞれの個人に適する勉強法がありそれを確立することが大切であるというテーマで巻頭言を寄せており、英語の辞書のページを切り取って飲み込んでいた偉人のエピソードが紹介されています。

大学進学や民間企業就職など各種進路に進んだ卒業生の体験記も掲載されていますので、生徒の皆さんはもちろん保護者の皆様にもぜひご覧になっていただきたいと思います。

変わる2021年度入試

②入試の名称と内容が変更されました

今回は入試の名称と内容が変更されていることについてお知らせします。

文部科学省は「多面的・総合的な評価の観点からの改善を図りつつ、各々の入学者選抜としての特性をより明確にする観点から」入試区分について左の表のように名称を変更しました。この変更は名称のみならず、内容にも変更が加えられています。

変更前	→	変更後
AO入試	→	総合型選抜
推薦入試	→	学校推薦型選抜
一般入試	→	一般選抜

以前AO入試と呼ばれていた入試は学力を測る試験だけに頼らず、人物の能力を小論文や面接などによって多面的に評価して合否を決定するというものでしたが、次第にその意義が失われ、早めに学生を確保したいという意図で「書類選考のみ」「面接のみ」といった大学が増えて、学力を軽視する動きがありました。そこで、新しい総合型選抜では学力を重視した選抜が必須となり、具体的には a)小論文、b)プレゼンテーション、c)口頭試問、d)実技、e)科目試験、f)資格・検定試験 のどれかを実施することとなり、また志願者本人の記載する資料である「活動報告書」、「志望理由書」などが積極的に活用されることになっています。

このことは学校推薦型選抜でも同様であり、さらに学校推薦型選抜の推薦書においては高校時代の学習歴や活動歴を踏まえた「学力の3要素」(①知識・技能 ②思考力・判断力・表現力 ③主体性・多様性・協調性)に関する評価を記載し、大学が選抜する際にこれらを活用することとなりました。

これまでAO入試や推薦入試を受ける場合は、学力はそれほど高いものは要求されないで文章表現の能力や面接の準備を重点的に行えば良いという考え方もありましたが、新しい入試においては一定の学力水準を確保しておく必要があると思われます。また新入試を初めて受験する現在の3年生については、それぞれの志望校が何をどの程度要求しているのかという情報を早めにキャッチして準備をしていく必要があります。

前回の便りでもお伝えしたように、これからの高校生は知識や技術を身につけることは当然のことであり、それに加えてその知識・技術を活用する思考力や進んで新しいことを学ぶ主体性といった「学力の3要素」を身につけることが必要となっています。そうやって身につけた新しい能力を測ろうとしているのが新入試であることが、入試内容の変更からも読み取れます。

毎日の学校生活がそのまま進路に結びついているという意識を持ち、勉強や課外活動、ボランティア活動など様々なことに挑戦して自分の可能性を広げることが現在の高校生には求められています。



新規高等学校卒業生求人票もうすぐ開示

2021年3月に高校を卒業する高校生の採用選考期日では、7月1日(水)から企業による学校への求人申込及び学校訪問開始となっており、まもなく求人票が開示されます。学校に求人票を郵送する企業や採用担当者が直接持参する企業などがありますが、学校ではインターネットを利用して厚生労働省の「高卒求人検索サービス」から全国の求人情報を知ることができます。また、新型コロナウイルスの感染拡大による休校の影響を考慮して、学校から企業への生徒の応募書類提出開始が10月5日(月)、企業による選考開始及び採用内定開始が10月16日(金)と例年よりも1ヶ月遅くなっています。就職支援員の小林大介さんによると、県内県南地区の企業の求人状況は、新型コロナウイルスの感染拡大により自動車の製造が停止したため、その部品を供給する企業の採用がなくなったケースはあるが、潜在的な労働力不足は解消されていないので予想よりも求人落ち込みは少ないということです。民間企業への就職希望の3年生はいよいよ本格的なスタートです。しっかりと準備をして、第1志望を達成してください。

